

2022度版 第26回 図書館を使った調べる学習コンクール® 地域コンクール 運営ガイド

はじめに	地域コンクール募集の目的および実施の概要	2
第1章	図書館を使った調べる学習コンクールの仕組み	2
第2章	地域コンクール開催手順	
1	年間スケジュールの作成	3
2	募集要項の作成	4
3	作品募集の働きかけ	6
4	作品の受付と保管	8
5	審査員の依頼	8
6	審査会の開催	9
7	表彰式	11
8	地域コンクール入選作品の複製・公開について	12
第3章	全国コンクールへの推薦	
1	全国コンクール審査について	13
2	推薦作品数	13
3	推薦作品決定後	14
4	推薦作品の発送	17
第4章	事業報告	18
第5章	全国コンクールの審査結果発表後	
1	審査結果の発表	19
2	「地域コンクール」推薦作品の結果通知・表彰・ 賞状送付・作品返却	19
3	全国コンクール入賞作品の扱い	20
第6章	その他	
1	個人情報の扱いについて	21
2	地域コンクール支援サイトについて	22

※この冊子は、第26回地域コンクールの参加団体向けです。
参加方法については「地域コンクール開催の募集」をご覧ください。

※本文中に例として提示している書類は、ホームページ（<https://concourstoshokan.or.jp/>）からダウンロードしてお使いいただけます。



はじめに 地域コンクール募集の目的および実施の概要

図書館振興財団（以下、当財団）は、図書館の利用促進と調べる学習の普及を目的に「図書館を使った調べる学習コンクール」を主催しています。学校教育・生涯学習の学習方法として有効な「図書館を使った調べる学習」を推進するために、一定の地域・住民等を募集対象とした「図書館を使った調べる学習コンクール」の「地域コンクール」を実施する団体を募集します。

各「地域コンクール」で審査いただいた後、応募数の一定比の上位作品を全国コンクールに推薦いただき、全国規模で審査・表彰（「全国コンクール」）をさせていただきます。

当財団では、地域一丸となった「地域コンクール」の実施により、郷土愛の醸成をはじめ地域づくりや地域の活性化につながる波及効果にも着目し、積極的に開催団体を募集いたします。

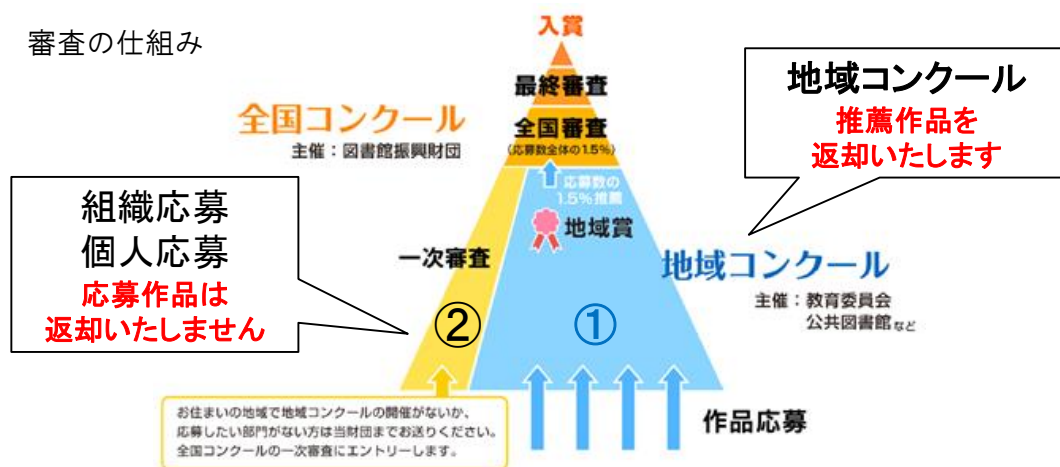


第1章 図書館を使った調べる学習コンクールの仕組み

全国コンクール応募の仕組み

- ①地域コンクールが開催されている地域にお住まい（または在学・在勤）の方
 - ◆ 最寄りの図書館や教育委員会等が開催する「地域コンクール」に応募します。
 - ◆ 設置部門以外の応募は②となります
- ②地域コンクールが開催されていない地域にお住まいの方
 - ◆ 各学校、各図書館など組織で応募します（組織応募）
 - ◆ 個人で応募します（個人応募）

審査の仕組み



■地域コンクール運営ご担当者様へお願い

下記の場合は、全国コンクールに応募することはできません。

- ◆ 各地域コンクールの締め切りに間に合わなかった作品
- ◆ 各地域コンクールで、推薦作品に選ばれなかった作品
- ◆ 他のコンクールに応募した作品

以上の注意点について、コンクール関係者へ周知してください。

当財団では審査の公平・公正を期すため、地域コンクールご担当の皆様と連携し、厳正な審査を目指してまいりたいと存じますので、ご協力をお願い致します。

第2章 地域コンクール開催手順

(1) 年間スケジュールの作成

「地域運営関係者ログイン」
<https://portals.toshokan.or.jp/login/>

コンクールの運営スケジュールおよび調べる学習推進事業等の計画を検討します。
 以後決定したスケジュールに沿って、広報、募集、作品返却、表彰までの事務作業を行っていきます。

月	地域コンクール (例)	運営担当事務	図書館振興財団 全国コンクール (予定)
前年度	・関係者(事務局、図書館、学校等)で、事業計画を立案		
4月	・募集要項の作成	地域コンクール開催申請の手続き ・アカウント作成	・前年度 結果報告送付 ・全国募集要項 公開 (HP)
5月	・募集ポスター、チラシの作成	・コンクール開催計画入力、申請処理	31日 「地域コンクール開催申込書」受付・承認
6月	・ポスター、チラシを配布(対象:学校、図書館等) ・各団体・組織に審査員の派遣を依頼		初旬 全国コンクールポスター・募集要項発送
7~8月	・図書館で「調べる学習講座」を開催 ・受賞作品の展示会を開催		
9月	応募作品の受付		12日 作品募集開始
10月	初旬:一次審査会開催 中旬:最終審査会開催		3日 作品受付期限
	審査結果の発表:入賞者への通知・表彰式の連絡・氏名等確認		
	賞状の作成・副賞準備		22日 一次審査会 23日 予備日
	表彰式開催		
11月		~8日 地域コンクール「作品集計報告」・「推薦作品」データ登録	8日 「作品集計報告」・「推薦作品」集計
		★~16日必着 応募カードを貼付し、全国コンクールへ推薦作品を送付	16日 推薦作品受付期限 26~27日 全国審査会 29~12月4日 (予備日)
12月	中旬 全国コンクールの参加賞を応募者へ送付	★~2日必着地域コンクール実施報告書を送付	2日 実施報告書提出期限 上旬~中旬 参加賞を地域コンクール事務局へ送付
			6~27日 最終審査会
1月	関係者へ報告		11日 審査結果発表 (HP上)
2月	中~下旬(学校を経由するなど)応募者へ作品を返却し賞状、副賞を授与する		中旬 推薦作品返却(入賞作品除く) 下旬~3月上旬 表彰式開催
3月	・地域コンクール入選作品の複製公開		前年度入賞作品の返却(本人宛)

2頁 全国コンクール
下図②

※審査会の日程は変更する可能性があります

第2章 地域コンクール開催手順

(2)募集要項の作成 -1-

事業計画に沿って、「応募方法」、「応募先」など作品募集要項を決めます。

[募集要項 例]

主 催	〇〇市教育委員会	*1 後援	〇〇ロータリークラブ 公益財団法人図書館振興財団
目 的	<p>図書館の利用促進と調べる学習の普及</p> <p>図書館資料をはじめ様々な情報を活用した調べる学習を通じ、児童・生徒が自らが考え・判断し・表現する、楽しく充実した学びを実現する。また、その活動のなかで〇〇市の公共・学校図書館の有用さを理解し、将来に向けて豊かな学習観・読書観を育む。</p> <p>応募された作品を評価することで、図書館活用の指導力を高める。</p>		
作品募集期間	2022年 9月1日～9月30日		
募集対象	〇〇市内在住・在学の小・中・高等学校の児童・生徒		
表彰式	2022年11月3日(予定)		
授与する賞	市長賞 (小学生、中学生、高校生)3名 教育長賞(小学生、中学生、高校生)3名 奨励賞 (小学生、中学生、高校生)10名		
副 賞	図書カード(ネットギフト)	参加賞	応募者全員に参加賞を贈呈
*2 応募方法	<p>1作品につき〇枚の「応募カード」を添えて、〇〇図書館へ持参または郵送してください。</p> <p>公立小中学校の児童・生徒はご自分の通う学校担任に提出してください。</p> <p>・各学校は、連絡便で中央図書館に配送してください。</p>		
*3 募集する作品	<p>公共図書館や学校図書館を使って調べ、まとめた作品</p> <p>身近な疑問や不思議に思うこと、興味があることなどテーマは自由です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べるときに利用した資料名と図書館名を書いてください。 ・他のコンクールや他の地域コンクールとの二重応募はできません。 ・応募者自身のオリジナルの作品に限ります。 ・大学等の専門機関における研究成果発表等は募集対象外です。 ・日本語で書かれた作品に限ります。 <p>作品形態</p> <p>サ イ ズ :小学生はB4サイズまで(八つ切りサイズも可) 中学生以上はA4サイズまで</p> <p>ページ数:1ページ以上50ページ以内 (表紙、目次、資料集、参考・引用文献一覧は除く)</p> <p>・PC出力紙の場合は文字サイズ11ポイント以上、1頁1000文字を目安とする</p>		
*4 応募作品の扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> ・上位の作品は、公益財団法人図書館振興財団が主催する全国コンクールの全国審査に推薦されます。 ・全国コンクールで入賞した作品の著作権は、公益財団法人図書館振興財団に帰属します。 ・全国コンクール入選・入賞者は、氏名(グループ名)・学校名・学年・作品名・都道府県名・地域コンクール名が公表されます。 ・当地域コンクールに応募された作品は返却いたします。 		
*5 応募先 (作品受け担当)	〇〇市立図書館	担当	××××
	〒	—	〇〇県〇〇市 番地 号 電話: FAX:

(2)募集要項の作成 -2-

*1 後援

図書館振興財団の後援名義をお使いいただけます。「公益財団法人図書館振興財団」と明記してください。

- ◆ 地元企業、商工会議所、ロータリークラブ、地元新聞社、ケーブルテレビ局、子どもの育成に関わる企業など外部団体の後援を得ることで、「地域に根ざした地域全体の取り組み」としてコンクールを盛り上げることができます。協力の輪を広げることで、コンクールへの関心が高まり、応募拡大につながります。
- ◆ 後援団体からは、賞の授与や副賞、事業資金の提供などが受けられる場合もあります。

*2 応募方法

→14頁参照

校内選考を行う場合は、校内で選考対象となった作品は選出しない場合も、応募作品数に含めることができます。参加賞を計上する場合は必ず、「作品集計報告」の「地域に残った数」（推薦しない作品数）に含めてください。

文部科学省の「学校現場の負担軽減に向けた協力依頼」にご配慮をお願いいたします。
https://www.mext.go.jp/a_menu/kouenmeigi/1402744.htm

*3 募集する作品 作品の形態

全国コンクールへ推薦する場合、全国コンクールの募集要項に沿った形態の作品をお送りください。

【レポートサイズ】

小学生 B4サイズまで（八つ切りも可）

中学生以上 A4サイズまで

模造紙等にまとめる場合は、必ず上記サイズに折りたたんでご応募ください

【ページ数等】

- ◆ 本文（全員）1ページ以上50ページ以内
※表紙・目次・資料集、参考・引用文献一覧は含みません
- ◆ 参考・引用文献一覧 調べたときに利用した資料名と図書館名のリストを必ず巻末に付けてください

「子どもと大人の部」とは →9頁参照

親子など、子どもと大人のグループが、共通のテーマで調べ、ともに意見しあい、調べを展開した作品を募集する部です。それぞれの視点で作品を書きます。（撮影や助言などの作品の手伝いは含みません）

*4 応募作品の扱いについて

次ページの文面通りに、募集要項・ポスターに必ず明記してください。

*5 応募先（作品受付け担当）

当財団のホームページを通じ、地域コンクールを開催している地域を周知し、地域コンクールへの作品応募を呼びかけます。
※募集要項が決まりましたらご提出ください。

第2章 地域コンクール開催手順

(3)作品募集の働きかけ -1-

◆作品募集チラシ、ポスターの作成・配布

募集要項に沿って、作品募集チラシ・ポスターを作成し、自治体内の学校や公共図書館へ配布・掲示し、作品募集を広報します。

・作品募集チラシには「応募カード」を掲載し、応募方法なども明記します。

・コンクールのチラシ・ポスターには以下の①～⑥を掲載してください

【注意事項】

①応募者自身のオリジナルの作品に限ります。

②他のコンクールとの二重応募はできません。

【応募作品の扱い】

③上位の作品は、公益財団法人図書館振興財団が主催する全国コンクールの全国審査に推薦されます。

④全国コンクールで入賞した作品の著作権は、公益財団法人図書館振興財団に帰属します。

⑤全国コンクール入賞・入選者の氏名(グループ名)・学校名・学年・作品名・都道府県名・地域コンクール名が公表されます。

【「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクールであることの表示】

⑥「図書館を使った調べる学習コンクール」の文字、もしくはコンクールキャラクターを記載してください。両方でも結構です。

コンクール名称について (下記A)

コンクール名称の使用において、書体の指定はありません。

コンクールキャラクター (下記B)

キャラクターの近くにキャラクター名とクレジット「©(公財)図書館振興財団」を表示してください。

⑥-Aの例

<1>

〇〇市図書館を使った調べる学習コンクール

<2>

〇〇市図書館を使った
調べる学習コンクール

⑥-Bの例



*ホームページ「地域コンクールを開催したい」から資料PDFダウンロード「キャラクターについて」をダウンロードしてお使いください。

<https://concoours.toshokan.or.jp/region-contest/>



※コンクール名称は商標登録されています。なお、地域コンクールによる名称利用は承認しております。

第2章 地域コンクール開催手順

(3) 作品募集の働きかけ -2-

[地域コンクール応募カード 例]

(参考書式1)

第 回 ○○市 図書館を使った調べる学習コンクール 応募カード

学 校 名	小学校／中学校／高等学校
応募者氏名	(年生)
連絡先住所 (学校/自 宅)	〒 () - ()
	担当の先生のお名前
	TEL () - () - ()
	FAX () - () - ()

◆広報・調べる学習の推進 (例)

【広報】

- ・ 校長会、図書部会、保護者会など学校関係者・図書館関係者の集まる会合に参加し、コンクールの趣旨を説明し賛同・作品応募を呼びかける。
 - ・ 自治体の広報誌やホームページ等のメディアを通じ、広く告知を行う。
 - ・ 入賞作品の展示会を開催し、作品の実例を見ていただき参加を促す。
 - ・ 図書館で全国コンクール入賞作品（複製）の展示を行う。
- * メディア掲載された情報を図書館振興財団でも紹介させていただきます。お知らせください。

【調べる学習講座、研修会 等の開催】

- ・ 図書館利用者（子ども・大人）を対象にした、調べる学習の実践方法を学ぶ講座（実習形式、講義形式）を開催する。
- ・ 教諭・司書教諭・学校司書・公共図書館スタッフ等を対象にした、調べる学習の理論を学ぶ講座・研修会（講義形式）を開催する。
- ・ 教諭・司書教諭・学校司書・公共図書館スタッフ等を対象にした、調べる学習の指導法を学ぶ講座・研修会（実習形式、講義形式）を開催する。
- ・ 地域の施設や企業等と連携して、調べる学習のテーマ探しの参考となる講座を開催する。
- ・ 調べる学習相談会を開催し、進め方等について個別相談に応じる。

- * 「図書館を使った調べる学習」の講師紹介や企画相談を受付けております。
「調べる学習の講師を紹介します」 <https://concoours.toshokan.or.jp/region-contest/>
お申込み先：info@toshokanshinko.or.jp

第2章 地域コンクール開催手順

(4) 作品の受付と保管

作品は、応募者による作品持参、学校や図書館間の連絡便などを活用した回収、宅配便による送付等の方法で一か所に集め、受付処理と保管を行います。

◆受付

- 所定の「応募カード」が添付されていることを確認します。
- 校内選考を実施している場合は、「送付作品リスト」のほか、校内に残った作品数も確認する。 →10頁、14頁参照

◆保管・管理

- 学年別に箱に入れるなどして、審査しやすいように準備し、審査会まで保管します。

※作品の保管中、「作品」「応募カード」の紛失に十分ご注意ください。

施錠できる部屋が望ましいです。

- 「応募カード」は個人情報が含まれます。



(5) 審査員の依頼

募集する部に合わせて、学校関係組織や図書館関係者などに審査員を依頼します。

第2章 地域コンクール開催手順

(6) 審査会の開催 -1-

同封の「審査の手引き」をご参照ください。

一次審査会の準備

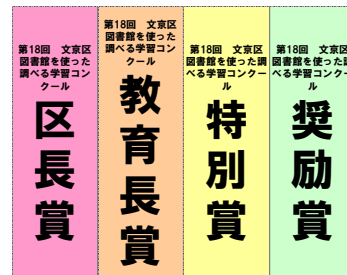
- ① 審査会場の手配
- ② 作品数を学年別に把握
- ③ 一次審査通過作品数の目安を出す
- ④ 審査基準、審査用紙、筆記用具の用意



付箋や筆記具、クリップなどがあると便利です

最終審査会の準備

- ① 審査会場の手配
- ② 「最終審査対象作品リスト」を作成
- ③ 審査基準、審査用紙、筆記用具の用意
- ④ 賞名の札を作成



審査会 審査の流れ

→13頁参照

予め、事務局で「入選作品数」および「全国コンクール推薦作品数」を各部に割り振っておく。

[賞札の例]

① 個人審査

担当の部に分かれ、各人が作品を読み審査する（良い作品に付箋を貼る等）



② 部門審査

個人審査の結果をまとめ、部ごとに協議を行った結果をもとに、部で選出する。
「入選枠」に応じた「上位候補作品」を選出する。



③ 全体審査

各部から「上位候補作品」を紹介し、入選作品を決定する。

その中から「全国コンクールへの推薦作品」を全体の協議で決める。

※全国コンクールへの推薦数は第3章（1）をご参照ください。 →13頁参照
（地域コンクール内での入選作品数（賞の数）、賞の名称は自由にお決めいただけます）

※「子どもと大人の部」 →5頁参照

親子など、子どもと大人のグループが、共通のテーマで調べ、ともに意見しあい、調べを展開した作品を募集する部です。

・子どもが主体となって取り組み、大人はその補助に徹した作品の場合は、子どもの学年に該当する部にご応募ください。

地域コンクールで「子どもと大人の部」の募集をしていない場合は、全国コンクールへ直接ご応募ください

第2章 地域コンクール開催手順

(6) 審査会の開催 -2-

応募作品数に応じた審査の進め方

【応募作品数が1,000近い場合】

審査員の人数にもよりますが、1回の審査会で受賞作品を選考するのは難しくなります。審査会を二段階に分けて、「一次審査会」を行い、作品を絞り込んでおくことをおすすめします。（下記「校内選考」もひとつの方法です）

【応募作品数が1,500を越え、「一次審査会」での絞り込みも困難になってきた場合】

募集時に「校内選考」の実施をよびかけます。作品が出品されてからでは間に合わないので、早めに調整・伝達することが必要です。校内選考を実施する際の作品リストは、下の表を参考にしてください。



コンクール審査会送付作品リスト／校内選考作品数報告

審査会に送る作品として、各学年から「2点」を目安に選んでください

学校名 _____ 小学校／中学校

ご担当者氏名 _____ (教諭・学校司書・その他)

送付作品 _____ 点 校内に残る作品数: _____ 点

学年	作品名	作者氏名	校内選考を行った 学年別作品数
1年			
2年			
3年			
4年			
5年			
6年			
校内選考を行った総作品数			
参加賞必要数合計※右欄と異なる場合 ()			

(参考書式)

校内選考の対象となった作品数(学年別)は「応募作品数の報告」で必要になります

全国コンクール 参加賞について

・作品を作られた方
全員分を進呈いたします

・一人で複数作品を作った場合は、作品数分を送付いたします

第2章 地域コンクール開催手順

(7) 表彰式

◆ 事前準備～物品・表彰状・副賞～

【賞状】

個人名・学校名・学年等、正しい表記を確認したうえで作成します。

【副賞】

「副賞」は、「図書カード」を差し上げているケースが多いようです（1,000円～3,000円程度）。そのほか、副賞として後援企業のノベルティグッズなどが提供され、受賞者に好評を得ている事例もあります。

【物品】

賞状、副賞、受賞作品のほかに、以下のものを準備することをおすすめします。

- ▶ 賞状をのせる黒盆（図書館振興財団からお貸出可能です。ご相談ください）
- ▶ 来賓や受賞者用の花の徽章（会場が華やかになります）



◆ 表彰式

表彰式と併せた取り組みとして、「受賞作品の展示会」の開催も行なっているケースなどもあります。

式次第（例）

開会挨拶
審査員長講評
表彰状授与
受賞者挨拶
閉会



(8) 地域コンクール 入選作品の複製・公開について

作品は「個人的な調査研究の成果」であり、図書館が扱う「公表された著作物」とは異質の資料です。複製・公開を行う場合は、以下の点に留意してください。

- 作者本人の了解を得てください。
- 冊子作成部数や公開方法によっては「作品内で引用・転載・添付した、権利を有する情報」や「個人が特定できる個人情報」の保護処理が必要です。
- 作品中の情報保護の状況（出典を明記しているかどうか等）に対して、作者に咎めが及ばないよう必要に応じて作品に補記をする等の措置をお願いします。

第3章 全国コンクールへの推薦

(1) 全国コンクール審査について

→2~3頁、17頁参照

- ・ 全国コンクールは別途、一次審査を行います。その通過作品と地域コンクール推薦作品が全国審査会（11月下旬開始）で合流します。
- ・ 出品いただいた作品は全国審査会で審査いたします。
- ・ 推薦作品は11月16日まで必着（送料は地域コンクール負担）で送付してください。
- ・ 全国審査会を経て最終審査会で入賞作品が決定します。
- ・ 地域コンクール入賞作品決定後は公平を期すため、作品への加筆・修正はお控え下さい。

(2) 推薦作品数

- ・ 地域コンクールで募集するA、Bそれぞれの応募作品数合計に応じて、A、Bそれぞれから全国コンクールに推薦してください。
- ・ 地域コンクールから全国コンクールに推薦いただける作品数の上限は、以下の通りです。

推薦作品数 算出方法

		部	推薦の上限数
A	小学生の部	低学年（1・2年生）	Aの応募作品数合計の1.5%以内の作品を推薦できます。 A応募作品数合計×0.015＝推薦上限数① (小数点以下切上げ)
		中学年（3・4年生）	
		高学年（5・6年生）	
	中学生の部	※ Aの部の間で推薦作品数の調整可	
高校生の部			
B	大人の部	Bの応募作品数合計の1.5%以内の作品を推薦できます。 B応募作品数合計×0.015＝推薦上限数② (小数点以下切上げ)	
	子どもと大人の部	※ Bの部の間で推薦作品数の調整可	

推薦作品数＝①＋②

推薦の推進枠について

- ・ Aの推薦上限数①＋Bの推薦上限数②＝「1」となる場合は、推進枠として1作品を追加して推薦していただけます。
- ・ Aのみ、もしくはBのみで設定している場合は、募集していない方を0として計算してください。
例：（Aの合計41作品×1.5%＝0.615）＝0.615⇒A「1」+B「0」⇒推進枠1作品を追加⇒計2作品

注意事項

- ・ 応募数は、今年度の作品数で計算してください。
- ・ 校内で審査対象となった作品も含めてください。
- ・ ABの片方の推薦を見合わせた場合も、AB間の振り替えはできません。
- ・ 地域コンクールでの入賞・入選作品数は独自にお決めいただけます。
- ・ 推薦の上限数「1.5%」の比率は、応募総数の増加により、今後変動する可能性があります。

第3章 全国コンクールへの推薦

(3) 推薦作品決定後 -1-

「地域コンクール開催支援サイト」より
<https://portals.toshokan.or.jp/login/>

推薦作品の決定
 応募作品数・参加人数合計集約

～11/8 推薦作品データ入力
 応募作品数入力

～11/16必着 推薦作品発送

推薦作品が決定したら、応募作品数と推薦作品の情報を、地域コンクールサイトへのデータ登録により、図書館振興財団まで報告してください。

報告期限 **11月8日(火)**

① 「地域コンクール担当者情報」及び「参加賞送付先・推薦作品返却先」

登録データが表示されます。変更が必要な場合は適宜修正していただけます

② 応募作品数の報告

地域コンクール開催支援サイトにログインし、「作品集計報告」から下記を入力してください。

- ・「推薦しない作品」の学年別作品数（校内選考の対象となった作品数を含む）
- ・参加賞必要数合計（全応募作品の応募者のべ人数）

※応募作品総数は推薦作品登録後自動計算されます。
 総数の入力は不要です。

- ・参加賞は、必要数プラス予備分を12月中旬までに送付します。
- ・参加賞はオリジナルクリアファイルの予定です。

*校内選考を実施された場合、作品を作られた方全員に「参加賞」をお送りいたします。

*他のコンクールに応募した作品は本コンクールに応募・推薦できません。



・校内選考の対象となった作品も含めます
 ・参加賞欄は推薦作品を含めた、のべ参加人数をご入力ください（事務用は別途加算するため、ここには含めません）

調べる学習コンクール ≡

メニュー

- ダッシュボード
- アカウント情報
- 第22回コンクール開催計画
- 推薦作品
- 作品集計報告
- 表示
- 編集

作品集計報告

開催された地域コンクールの最終的は応募状況をお知らせください
 ※は必須項目です

地域コンクール ○○市立図書館を使った調べる学習コンクール

推薦作品合計数 0 地がグレーの部分は自動表示されます

小学1年	0	小学2年	0	小学3年	0
小学4年	0	小学5年	0	小学6年	0
中学1年	0	中学2年	0	中学3年	0
高校1年	0	高校2年	0	高校3年	0

推薦しない作品数*
 調べる学習部門

①
 ②

入力後「保存」
 →もう一度編集画面を開き直して「保存」

推薦しない作品数を入力してください

第3章 全国コンクールへの推薦

「地域コンクール開催支援サイト」より
<https://portals.toshokan.or.jp/login/>

(3) 推薦作品決定後 -2-

③ 「推薦作品」 データの入力

- ・ 「作品集計報告」と「推薦作品登録」はどちらを先に入力してもかまいません。
- ・ 地域コンクール開催支援サイトの「推薦作品」より1作品ずつ登録してください。
- ・ 推薦作品の発送より先に登録してください。
- ・ 入力の際は、次頁「作品タイトルの入力について」を参考にしてください。

調べる学習コンクール ≡ 地域コンクール開催支援サイト

推薦作品登録
全国コンクールへ応募する推薦作品の登録
※は必須項目です

地域コンクール

応募部門*

タイトル*

タイトル (ふりがな)*

氏名*

備考

先に作品集計報告を入力した場合は、「推薦作品」登録後、もう一度作品集計報告の「編集」画面を開いて「保存」してください。
→全国コンクールの管理画面に推薦作品数と集計報告の合計が反映します。

- ・ 2名以上で取り組んだ場合、最初に入力した代表者も含めた全員の氏名を入力してください。
- ・ クラス全員の場合は〇〇市立〇〇小学校〇年〇組でかまいません。(ここに入力された名前は発表・賞状等作成用データになります)

備考には

- ・ 氏名等の文字形で特殊な場合
- ・ 学校種別や校名に注意を要する場合
- ・ 作品の形態で注意が必要な場合(別冊あり)の補記をしてください

使用できる環境依存文字(補記不要のもの)

崎(崎の旁が「立」)・高(はしご高)・富(わかんむり)

第3章 全国コンクールへの推薦

「地域コンクール開催支援サイト」より
<https://portals.toshokan.or.jp/login/>

(3) 推薦作品決定後 -3-

④ 作品タイトルの入力について

表記	データ入力	表記	データ入力
英	半角	・(中黒)	全角
数	半角	…	…(三点リーダー)ではなく中黒3個
カタカナ	全角	&	半角 &
～	全角	~	半角 二重引用符(シフト+2)
?	半角 ?	()	半角
!	半角 !	/	斜線半角
!!	半角 !!	スペース	半角空ける
「 」	全角	.(ピリオド)	半角「」

※「'」（半角アポストロフィ）：「/」や「¥」が表示・印刷されます。
全角にさせていただくか、備考に正しいタイトルをご入力の上、財団にご一報ください。

⑤ 推薦作品用応募カードの印刷

・地域コンクールサイトから推薦作品をエントリーをしていただくと、一覧表示より、指定した推薦作品の応募カードや、入力した作品の一覧リストを出力することができます。

・「地域コンクール推薦用 応募カード」を推薦作品に1枚貼付してください。

調べる学習コンクール ≡ 地域コンクール開催支援サイト

推薦作品一覧
全国コンクールへ応募する推薦作品一覧
※は必須項目です

25 件表示
一括処理 適用 フィルタリセット

検索: _____

※作品データの部門名をクリックで抽出+学年(矢印)でソートできます。

作品番号	タイトル	応募部門	氏名	学年	学校名/組織名	参加者氏名・学校名	備考
0354	○○○○○の秘密	調べる学習部門 小学生の部 (中学年)	○○	小学 4年	○○市 立中央小学校		

1件中 1 から 1 まで表示

前 1 次

一括処理
一括処理
リスト出力
応募カード出力
削除

出力する作品に
チェック

第3章 全国コンクールへの推薦

(4)推薦作品の発送

【送付期限】 2022年11月16日(水) 必着

【送付先】 〒112-0002
東京都文京区小石川5-2-2
公益財団法人図書館振興財団 コンクール係
電話 03-3868-8745

※送付は地域コンクールのご負担でお送りください。

※図書館振興財団は2022年4月末に移転いたします。

宛先にご注意ください



「応募カード」のつけ方

「応募カード」は 作品の裏表紙等に糊またはテープではがれないように貼付してください

別冊にも応募カードを貼付して「別冊」と明記してください

「応募カード」は個人情報です

図書館振興財団では、「応募カード」を通じてお預かりした個人情報は、当財団の個人情報保護方針に基づいて厳重に管理いたします。

地域コンクールご担当者様には、各地域の個人情報保護方針に沿って、応募者の個人情報を保護・管理していただきますようお願いいたします。

▶ 貼付方法について

募集要項（「応募について 募集方法」）をご参照ください

当財団ホームページ <https://concours.toshokan.or.jp/youkou/>

※全国コンクールとしての公平な審査と個人情報保護のため、地域コンクールで使用した応募カード、評価に関する情報等は外す、もしくは覆うなどのご配慮をお願いいたします

第4章 事業報告

事業終了後、下の表に準じて「地域コンクール実施報告書」を書類で提出してください。

- ・ 提出期限：2022年12月2日（金）まで
- ・ 提出部数：2部
 - フォーマットは地域コンクール支援サイトよりダウンロードしてください。
 - 添付資料も2部ご提出ください。
 - 期限内に提出された報告書は地域コンクールの賞の選考資料とさせていただきます。

入賞：総務大臣賞 ※2022年4月現在 申請中

図書館を使った調べる学習活動賞

公共図書館、学校図書館を使った調べる学習の普及のために、優れた推進活動を行った地域コンクールを表彰します。の中で、特に、地域の活性化に寄与した(12②)地域コンクール1団体を「総務大臣賞」として表彰いたします(予定)。

[実施報告書 記載例] (提出書類)

<p style="text-align: right;"><実施報告書> 2022年11月〇日</p> <p>公益財団法人図書館振興財団 理事長 石井 昭</p> <p>地域コンクール主催者 主催者氏名 (公印省略)</p> <p style="text-align: center;">「図書館を使った調べる学習コンクール」 地域コンクール実施報告書</p> <p>2022年〇月〇日付で参加承認を受けた、下記のコンクール事業を実施しましたので報告いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 地域コンクール回数・名称</p> <p>2 実施団体名称 主催： ※支援サイトの情報と齟齬がある場合は、 共催： 支援サイトの「開催計画」修正していただくか、 後援： 支援サイトの備考欄に補足をお願いいたします。</p> <p>3 実施期間（募集期間） 2022年〇月〇日（〇）～〇月〇日（〇）</p> <p>4 応募作品数の報告 別紙：地域コンクール開催支援サイト「作品集計報告」 ※画面印刷したものを別紙添付してください</p> <p>5 市区町村立小中学校の児童・生徒総数 小学校〇名 中学校〇名 ※自治体発表の在籍者数を記載してください。 ※募集対象外の学年は除いてください。</p> <p>6 審査会 日 時：2022年〇月〇日（〇） 〇〇：〇〇～〇〇：〇〇 会 場：〇〇図書館 審査員： 〇名（役職）</p>	<p>7 地域コンクール入選作品 小学生の部 〇点 中学生の部 〇点</p> <p>・〇〇市長賞 小学生の部・中学生の部 各〇作品 ・〇〇教育長賞 小学生の部・中学生の部 各〇作品 ・奨励賞 小学生の部・中学生の部 各〇作品</p> <p>8 全国コンクール推薦作品数 小学生の部 〇点 中学生の部 〇点</p> <p>9 第〇回 〇〇市図書館を使った調べる学習コンクール」表彰式の実施 日時：2022年〇月〇日（〇） 〇〇：〇〇～〇〇：〇〇 会場：〇〇ホール ※コンクール表彰式の様子</p> <p>10. 第〇回 「〇〇市図書館を使った調べる学習コンクール」実施要項</p> <p>11. 推進事業の報告 推進事業として実施された活動の概要 ・〇〇研修会：目的、対象、内容等 ・〇〇相談会：目的、対象、内容等 ・〇〇講座：目的、対象、内容等 ・オンライン〇〇 ・市民向け講座 ・郷土研究等の市民グループとの連携 ・大学との連携 ・デジタルアーカイブの活用等 ※継続事業と新規事業を区別してご記入ください。</p> <p>12. 地域コンクールの成果 ①図書館の利活用や調べる学習における今年の傾向 ②地域団体との連携等、地域づくりや地域の活性化につながったこと ※添付資料なども付けて、具体的に示してください。 追加資料を依頼する場合があります。</p> <p>13. 添付資料 ①作品募集要項ポスター、応募チラシ、応募用紙等 ②講座等のポスター、応募チラシ、応募用紙等 ③調べ方ガイド等 ※別紙添付してください。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
---	--

第5章 全国コンクールの審査結果発表後

(1) 審査結果の発表

結果発表 2023年1月11日(水) 13時(予定)

図書館振興財団ホームページ (<https://concours.toshokan.or.jp/>) で発表します。

- ◆ 個人情報(氏名、学校名、学年)を公表します。
- ◆ HPはパソコンの文字表示制限により、旧字体や異体字については汎用的な漢字に置き換えて表示しています。表彰状は、可能な限り、お知らせいただいた表記で作成させていただきます。

(2) 「地域コンクール」推薦作品の結果通知・表彰・賞状送付・作品返却

	★ 入 賞	★ 入 選
賞名(作品)	文部科学大臣賞※ 観光庁長官賞※ 「2030生物多様性枠組実現日本会議」賞※ 優秀賞	優良賞 奨励賞 佳作
賞名(地域コンクール主催者)	総務大臣賞※ ※2022年度申請中 図書館を使った調べる学習活動賞	
結果通知	当財団より、以下の方法で通知します 児童・生徒：学校を通じて本人へ 大人の方：地域コンクールを通じて本人へ 入賞書類 ①入賞通知 ②著作財産権譲渡に関する確認書類 (お願い文と「著作権譲渡契約証書」) ③氏名表記確認 ④表彰式の出欠等	当財団より地域コンクール運営担当者様宛て、2月中旬(作品返却時)に以下を送付します。 ◆ 優良賞、奨励賞 賞状 副賞(図書カードネットギフト) 作品 ◆ 佳作 賞状、作品
表彰式	東京都内で開催する表彰式に招待いたします。 (オンラインにて開催予定) 【授与するもの】 ◆ 文部科学大臣賞、観光庁長官賞、 「2030生物多様性枠組実現日本会議」賞 賞状、表彰楯、 副賞(図書カードネットギフト) ◆ 優秀賞 表彰楯、副賞(図書カードネットギフト) ◆ 総務大臣賞、 図書館を使った調べる学習活動賞 賞状、副賞 (賞金、又は図書カードネットギフト)	対象外です。
作品返却	受賞から1年間：当財団で保管 翌年2024年3月に受賞者本人へ直接返却 ※ご要望があれば一時返却も可能です。	2023年2月中旬頃に発送 ・図書館振興財団元払い ・地域コンクール返却ご担当者様宛
参加賞	参加賞は、12月中旬までに地域コンクール運営担当者様宛にお送りいたします。	

(3) 全国コンクール入賞作品★の扱い

図書館振興財団は、入賞者本人（未成年の場合は代理人）が署名捺印した入賞書類「著作権譲渡契約証書」を受理した時点で、以後入賞作品の著作権（財産権）を所有します。（優良賞、奨励賞、佳作は上記に含まれません）

【入賞作品の利用について】

※入賞作品は、当財団が個人情報や著作権の保護処理を行い冊子複製・電子書籍化した「公開作品」と、未処理の「非公開作品」に分けて利用を受付けています。

- ◆ 地域コンクールの推薦作品が全国コンクールに入賞した場合も、ご利用の際は当財団へ「利用申請書」をご提出ください。
- ◆ 入賞作品は、コンクールならびに調べる学習の普及を目的に、個人・団体からの利用申請内容に応じて、複製（冊子・デジタルデータ）を提供します。

公開作品の利用の場合

当財団が個人情報や著作権の保護処理をした複製品を提供いたします。

非公開作品の利用の場合

利用内容に応じた条件確認を行うため、提供までに二か月程度の日数をいただく場合がございます。

また、地域コンクールで個人情報や著作権の保護処理をしていただく場合がございます。ご了承ください。

- ◆ 入賞作品の一部または全部を二次利用する場合も、用途を明記のうえ「利用申請書」を当財団へご提出ください。

※入賞者または入賞者以外の第三者が、入賞作品の商用利用を希望する場合、当財団と協議、契約が必要です。

利用申請書はこちらから

<https://concours.toshokan.or.jp/topics/>

The image shows a form titled 「図書館を使った調べる学習コンクール」入賞作品 利用申請書 (複製冊子・電子書籍複製作品) with a date of 2023.09.20. It is from the National Library of Education. The form contains several sections with checkboxes and text boxes for providing details about the user's intended use of the award-winning work, including reproduction, digital data, and secondary use.

(1) 個人情報の扱いについて

当財団は、作品管理をはじめとするあらゆる業務において、個人情報の取り扱いを必要とする場合がございます。皆さまからお預かりいたしました個人情報の安全性を確保することが最重要であると認識し、下記の方針に従って管理いたします。

公益財団法人 図書館振興財団 個人情報保護方針

公益財団法人図書館振興財団は、図書館運営に関わる事業・活動への助成、機関誌の発行、コンクールや研修事業の運営、および会員管理等の業務を行っておりますが、このような業務におきまして、皆様からお預かりいたしました個人情報の安全性を確保することが最重要であると認識しております。この目的のため、当財団は以下に示す個人情報保護方針を定めます。

1. 個人情報保護管理責任者を設定し、当財団の業務内での個人情報の取り扱いについて適切に管理・指導いたします。
2. 個人情報を取得・利用および提供をおこなう場合は、あらかじめ明示した利用目的の範囲内で取得・利用および提供をおこないます。法令により例外として扱われるべき場合を除き、本人または未成年の場合は代理権を有する代理人の同意を得ずに第三者へ提供することはありません。
3. 当財団の管理下にある個人情報については不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等について、適切な防止および是正処置を実施いたします。また個人情報を第三者へ提供する場合は、当財団の規定と同様の適切な取り扱いがおこなわれるよう管理・監督いたします。
4. 当財団が管理する個人情報に関して、本人および代理権を有する代理人からの照会、苦情および相談に対し、窓口を公開し適切な対応を迅速におこないます。
5. 個人情報保護法をはじめとする個人情報に関連する法規制、国が定める指針その他の規範について遵守するとともに、個人情報保護体制の運用の継続的な改善、向上に努めます。

2012年4月1日
公益財団法人図書館振興財団
理事長 石井 昭

(2) 地域コンクール支援サイトについて

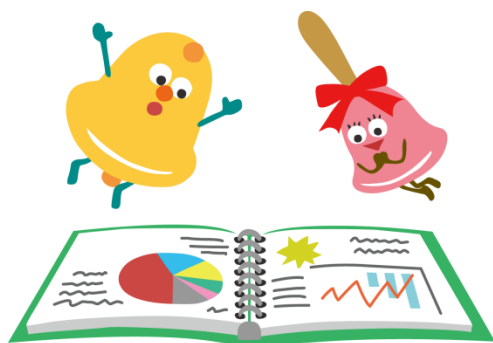
- ・ 開催申請時に未定もしくは予定の場合は、決定次第情報の更新をお願いいたします。
- ・ 年度末に更新処理を行います。
必要なデータは事前に別途保存をしておいてください。
- ・ 2023年度の地域コンクール開催申請は2023年4月より受付予定です。
詳細は『第27回（2023年度）「地域コンクール」開催の募集』をご確認ください。
（継続の場合も申請をお願いいたします）

■ 提出期限一覧 ■

11月 8日（火） 「応募数集計表」・「推薦作品一覧」
提出期限（データ）

11月16日（水） 推薦作品 必着

12月 2日（金） 地域コンクール実施報告書 提出期限



【お問合せ・相談先】

公益財団法人図書館振興財団 <https://www.toshokan.or.jp>

2022年4月28日まで

〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-9
TEL:03-3943-4743
FAX:03-5978-3291

2022年5月2日より

〒112-0002 東京都文京区小石川5-2-2
TEL:03-3868-8745
FAX:03-3868-8744

「図書館を使った調べる学習コンクール」

メール：contest@toshokanshinko.or.jp

担当：鈴木香代子・植村 圭子・出光 良

